

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター事業について

1 平成30(2018)年12月1日開設準備等

○他自治体先進事例の視察

世田谷区福祉人材育成・研修センター、町田市介護人材開発センター、調布市福祉人材育成センター、練馬介護人材育成・研修センター

○開設記念講演会

日時・場所・内容等：平成30(2018)年11月23日(金・祝)・武蔵野商工会館4階市民会議室(ゼロワンホール)、講演「福祉業界における、これからの介護人材の育成について」・久留善武氏(一般社団法人シルバーサービス振興会事務局長、武蔵野市第六期長期計画策定委員) / 89名参加

○各種広報 … パンフレット・ホームページ作成

市報12/1号、ケーブルテレビ、地域関連団体・事業者連絡会議等にて周知

2 開設後の事業実績

○武蔵野市地域包括ケア推進人材育成センター運営委員会及び関係機関職員向け研修会(内部周知・研修)

日時・場所・内容等：平成31(2019)年1月28日(水)午後6時30分～8時30分・市役所811会議室、講演「福祉業界における、これからの介護人材の育成について」・秋本可愛氏(株式会社 Join for Kaigo 代表取締役、東京都福祉人材対策推進機構専門部会委員) / 81名参加

○1月14日成人式 新成人への広報 … メッセージカード入りのポケットティッシュ900個配布

◎4つの柱の事業について(4～11月は、福祉公社ホームヘルプセンターと共同実施)

(1) 人材養成事業

・介護職員初任者研修

5月29日～9月11日(25日間、132時間) + 訪問実習2時間、修了者10名(受講12名)

・認定ヘルパー養成研修

第1回 6月11日～7月6日(8日間)、修了者7名(受講7名)

第2回 2月13日～15日(3日間)、修了者5名(受講7名)

・武蔵野市認定ヘルパーフォローアップ研修

第1回 9月14日(金) 受講者19名「利用者と支援者のより良いコミュニケーション技術」

第2回 12月11日(火) 受講者15名

第3回 2月21日(木) 受講者18名

(2) 研修・相談事業

・技術研修

第1回 9月26日(水)「移乗について(初級編)」 受講者39名

第2回 12月20日(木)「生活に必要な移動支援(中級編)」 受講者33名

第3回 2月26日(火)「指導者向け移乗・移動の支援」 受講者30名

・武蔵野市認知症見守り支援ヘルパー養成研修(全3回)

第1回 10月10日(水)「医学的アプローチ」 受講者62名

第2回 10月25日(木)「心理的アプローチ」 受講者38名

第3回 11月8日(木)「実践的アプローチ」 受講者67名

・介護従事者の悩み相談事業



▲開設記念講演会(H30 11/23)

	12月	1月	2月	合計
相談件数	4件	0件	1件	5件

内容：有資格者の就労、活動中のヘルパーとしてのケース対応、障害児支援の人材育成に関して、事業所管理者から求人について

※次年度から、新規の専門相談（法律関係）を実施予定。

（3）就職支援事業

- ・ホームページ及びツイッターによる情報発信（ホームページ：12月1日開設）

	12月	1月	2月	合計
ツイート数	20回	33回	48回	96回
インプレッション数（延数）	9,260回	15,786回	18,801回	18,801回
フォロワー数（延数）	10人	58人	74人	74人

- ・第1回介護・福祉のお仕事フェア「カイゴのシゴト」

日時・場所・内容等：平成31（2019）年3月23日（土）午後2時～4時・武蔵野プレイス4階フォーラム、セミナー&ワークショップ・セミナーのテーマ「介護のリーダーは日本のリーダーになる」／講師：秋本可愛氏

（4）事業者・団体支援事業

- ・事業所の求人案内 … ホームページ内での事業者紹介に、求人案内の表記を加える。

3 平成31年度の事業予定

予算額 27,592,000円

<新規実施事業>

○就職相談会の実施

- ・ハローワーク等関連機関の協力を得て、介護の職に関心のある市民の方、及び就労を考えている有資格者の方等、経験の有無を問わず、介護の就労に向けて実施する相談会を実施予定。

○管理者・経営者向け研修の実施

- ・人事管理、危機管理、コーチング、相談支援技術等、管理者や経営者にとって必要な内容をテーマとして研修を行う。

○潜在的介護従事者への周知及び研修の実施

- ・介護職員初任者研修又は2級ヘルパー以上の資格を保有していながら、介護の職に就いていない市民の就労意欲の掘り起こしのため、全戸向け広報を実施。受講者には、基礎講義及び利用者宅実習で不安を解消するようサポート。

○喀痰吸引等研修（2020年度開始予定）の準備

- ・都への事業申請準備、必要物品の購入検討。当研修を見据えて、31年度技術研修を医療研修の位置づけとする予定。